

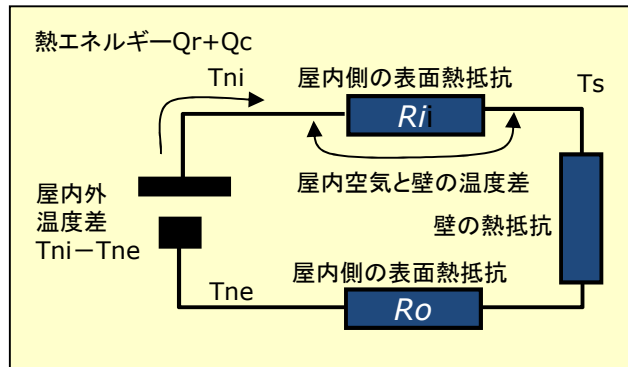
赤外線サーモグラフィによる 既存住宅の熱貫流率測定セミナー

赤外線サーモグラフィを用いて既存住宅の断熱性能を表す熱貫流率の測定方法のセミナーです。住宅の各部から外に失われてゆく熱エネルギーは各部の表面温度に影響を与えます。高断熱、省エネルギーに対応した快適な住宅は優れた熱貫流率になっています。新築では部品材料の性能から計算で性能が判ります。しかし、既存住宅、特に築年数の経った住宅では部品材料の劣化も考えられ、新築のように計算で性能を示すことができず、熱貫流率を測定しなければなりません。

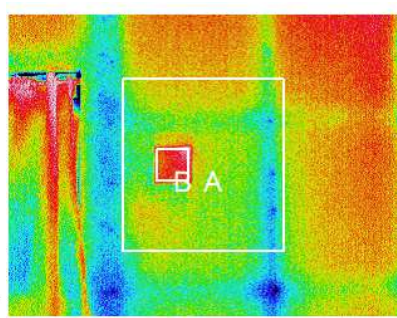
内容

1. 作業手順概要
2. 住宅熱貫流率
3. 使用機材
4. 赤外線サーモグラフィの知識
5. 作業計画
6. 作業実施
7. レポート
8. 測定結果例
9. 重要点・適用限界

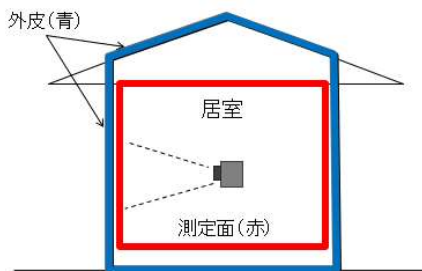
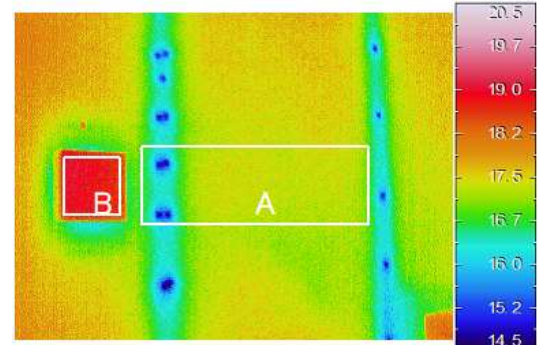
熱エネルギーの移動と断熱



水平と垂直に熱橋がある場合



垂直のみに熱橋がある場合



参加費(1名、テキスト代、税込み) : 13,000円(非会員)、11,700円(会員)

定員 : 東京、大阪とも16名

開催場所(開催日はWEBページで確認願います)

開催場所	
東京	五反田光和ビル 3階会議室 東京都品川区西五反田8-1-5 お問合せ先: 当協会事務所 TEL:042-442-4721
大阪	住友商事淀川ビル1階会議室 大阪市淀川区西中島1-11-16 お問合せ先: 当協会事務所 TEL:042-442-4721

- 赤外線サーモグラフィを用いて、実験しながら、ご説明します。
- 赤外線サーモグラフィを用いて、住宅の熱貫流率の測定する方法が理解できます。